



# 第48期 報告書

---

2018年6月1日 ▶ 2019年5月31日

証券コード:6150

# 経営理念

## 一、技術創造

常に技術革新に努め、顧客の要望に応える製品・サービスを提供し、顧客と共に成長します。

---

## 一、社会貢献

常に法令遵守で成長発展を目指し、株主・社員及び地域社会の人々のために貢献します。

---

## 一、明るい社風

常に社員の自己啓発を支援し、謙虚で明るい、前向き思考の社風づくりに努めます。



(本社工屋並びに工場)

# ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第48期(2018年6月1日から2019年5月31日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

これからも株主の皆様のご期待に応えるため、お客様に選ばれる会社を目指し挑んでまいります。

今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

2019年8月



代表取締役社長  
竹田 雄一

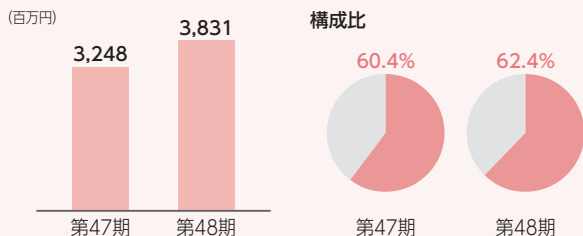
# 当期の概況／品目別売上高の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米国の保護主義的な通商政策や金融政策のほか、地政学的な国際関係の緊張から企業収益に慎重な見方が広がる一方で、政府の経済対策を受けて企業収益や雇用情勢は改善しつつある中、底堅く推移しました。

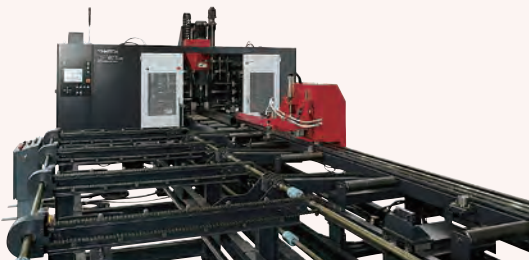
このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に積極的に取り組み、とりわけ、お客様の人手不足による労働環境の逼迫を受け、省人化・省段取りに対応した製品販売が好調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は6,141百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は843百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益は861百万円（前年同期比30.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は640百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

## 形鋼加工機

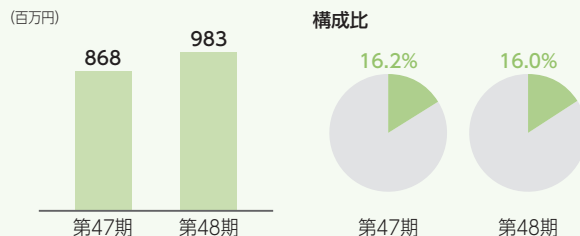


首都圏を中心とした高層建築物・商業施設・倉庫などの建設需要が高止まりにあるものの、お客様の人手不足による労働環境の逼迫を受け、省人化・省段取りに対応した自動化システムの提案営業を展開したことにより、売上高は3,831百万円（前年同期比17.9%増）となりました。



■形鋼加工機 自動工具交換 穴あけ切断複合機 CBF-3015 II-ATC

## 丸鋸切断機

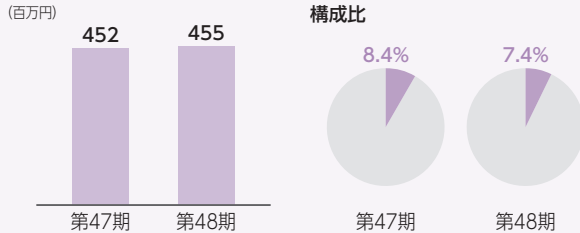


鋼材加工向けのバンドソーからの入替提案や客先仕様機の対応を積極的に展開したことにより、売上高は983百万円（前年同期比13.2%増）となりました。



■定寸装置付角度切り丸鋸切断機 CM-1010KKS

### 金型

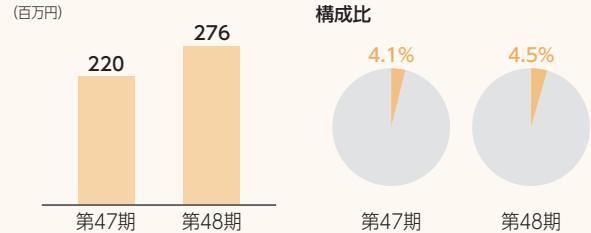


副資材向けの加工需要や形鋼加工機に付属する金型が堅調に推移したことにより、売上高は 455 百万円（前年同期比 0.7% 増）となりました。

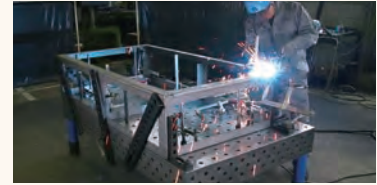


■プレス用ユニット金型

### その他（受託事業）

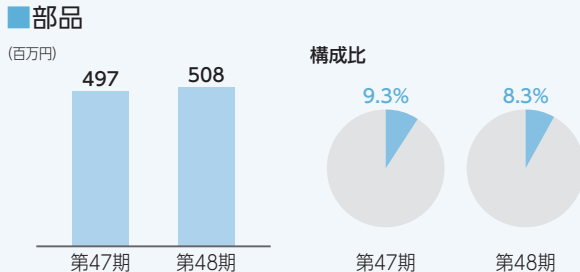


子会社のタケダ精機株式会社の売上高が 240 百万円（前年同期比 14.6% 増）と増加したことにより、売上高は 276 百万円（前年同期比 25.0% 増）となりました。



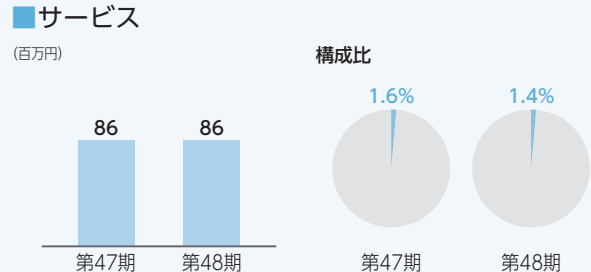
■受託加工 溶接テーブル  
（タケダ精機株式会社）

### 部品・サービス



お客様が使用されている当社製品の稼働率は上昇している中、「お客様満足度の向上」を図るようサービス活動を展開したことにより、売上高は 594 百万円（前年同期比 1.9% 増）となりました。

なお、部品の売上高は 508 百万円（前年同期比 2.1% 増）、サービスの売上高は 86 百万円（前年同期比 0.6% 増）となりました。

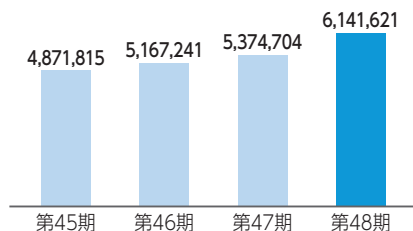


# 財産及び損益の状況の推移

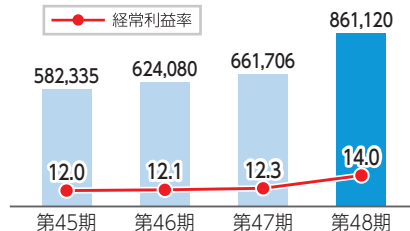
区分	第45期 2016年5月期	第46期 2017年5月期	第47期 2018年5月期	第48期 (当連結会計年度) 2019年5月期
売上高 (千円)	4,871,815	5,167,241	5,374,704	6,141,621
経常利益 (千円)	582,335	624,080	661,706	861,120
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	394,238	436,464	451,665	640,224
1株当たり当期純利益 (円・銭)	406.83	476.24	490.80	695.89
総資産 (千円)	5,749,911	6,251,131	6,272,107	6,384,500
純資産 (千円)	2,375,154	2,795,170	3,190,159	3,745,968

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。  
 2. 2017年12月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第45期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。  
 3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)に伴う、「会社法施行規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」(法務省令第5号 平成30年3月26日)を第48期(当連結会計年度)の期首から適用しており、第47期の総資産の金額については、当該省令を遡って適用した後の金額となっております。

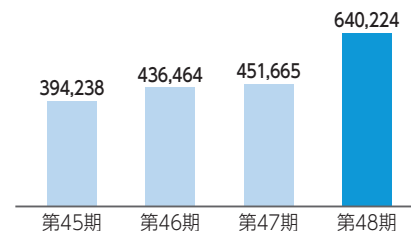
売上高 (千円)



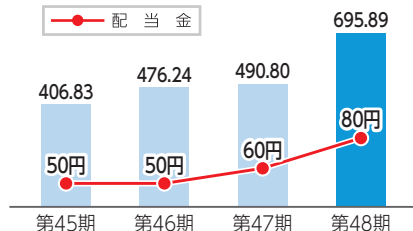
経常利益 (千円)



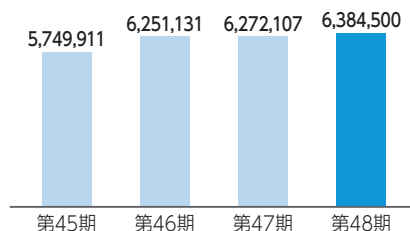
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)



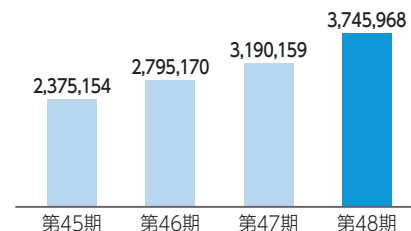
1株当たり当期純利益 (円・銭)



総資産 (千円)



純資産 (千円)



- (注) 第45期及び第46期の配当金は、上表(注)2項に記載の株式併合(10:1)を考慮した金額で記載しております。



当社グループは、建築鉄骨業界・製缶板金業界・自動車関連業界を主力とする形鋼加工機、丸鋸切断機の製造販売をコア事業と位置付け、「お客様視点のものづくり」を基本原点に、グローバルな競合他社に負けない競争力を強化すべく基盤体制づくりを進めております。

また、市場の拡大を図るため、東南アジアを主体とするグローバルステージ参画の強化と海外事業の成長により、企業価値を高め、安定した収益を確保できる企業体質の構築を目指してまいります。

具体的には、以下に掲げる経営課題に取り組んでまいります。

## ① 海外売上高の飛躍

東南アジア市場におけるインフラ整備関連・近代化プロジェクト需要の取込みをターゲットとする形鋼加工機の販売活動を積極的に展開し、また、丸鋸切断機の販路開拓と販売強化を図ることにより、海外売上高の飛躍に挑戦してまいります。

## ② 製品開発力の強化

お客様がご要望する人手不足の解決策として、省人化・省段取りに対応する製品開発の強化を図ってまいります。また、グローバルな環境に適応した製品開発を実施し、年間2機種の新製品を市場投入できる体制を構築してまいります。

## ③ 付加価値の向上

IT技術の活用による業務改善活動の定着化と生産活動の効率化によって、生産リードタイムの短縮・適正在庫の把握・在庫コントロールの強化を図ってまいります。また、製品・サービスの品質向上によるムダ取りを徹底し、付加価値を生み出す高収益企業を目指してまいります。

## ④ 人材育成の強化

OJT・OFF-JTによる自律した人材の育成に積極的に努め、各種資格取得推進による従業員の成長と技術・技能レベルの向上を図り、当社グループ全体の総合技術力の強化に努めてまいります。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表 (2019年5月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	
科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>4,001,871</b>
現金及び預金	985,976
受取手形及び売掛金	1,350,128
製品	756,895
仕掛品	356,100
原材料	543,290
その他	9,478
<b>固定資産</b>	<b>2,382,629</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,915,560</b>
建物及び構築物	582,113
機械装置及び運搬具	121,876
土地	967,629
リース資産	204,136
その他	39,803
<b>無形固定資産</b>	<b>170,134</b>
リース資産	96,100
その他	74,034
<b>投資その他の資産</b>	<b>296,934</b>
投資有価証券	103,131
保険積立金	112,767
繰延税金資産	67,738
その他	16,436
貸倒引当金	△3,140
<b>資産合計</b>	<b>6,384,500</b>

負債の部	
科目	金額
<b>流動負債</b>	<b>1,902,083</b>
支払手形及び買掛金	578,505
短期借入金	400,000
1年内返済予定の長期借入金	268,459
リース債務	81,882
未払法人税等	154,146
賞与引当金	155,508
役員賞与引当金	42,400
製品保証引当金	4,926
その他	216,256
<b>固定負債</b>	<b>736,448</b>
長期借入金	490,342
リース債務	194,346
役員退職慰労引当金	44,556
その他	7,203
<b>負債合計</b>	<b>2,638,532</b>

純資産の部	
科目	金額
<b>株主資本</b>	<b>3,765,158</b>
資本金	1,874,083
資本剰余金	44,103
利益剰余金	2,015,220
自己株式	△168,249
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△19,189</b>
その他有価証券評価差額金	△19,189
<b>純資産合計</b>	<b>3,745,968</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,384,500</b>



## ■ 連結損益計算書 (2018年6月1日から2019年5月31日まで)

(単位:千円)

科目	金額	
売上高		6,141,621
売上原価		4,283,185
売上総利益		1,858,435
販売費及び一般管理費		1,015,311
営業利益		843,124
営業外収益		
受取利息	303	
受取配当金	3,349	
仕入割引	38,010	
賃貸料収入	6,013	
その他	9,667	57,344
営業外費用		
支払利息	15,953	
売上割引	21,940	
その他	1,455	39,349
経常利益		861,120
特別利益		
固定資産売却益	24,408	
保険解約返戻金	26,064	50,473
特別損失		
固定資産除却損	1,091	1,091
税金等調整前当期純利益		910,502
法人税、住民税及び事業税	255,526	
法人税等調整額	14,751	270,278
当期純利益		640,224
親会社株主に帰属する当期純利益		640,224

# 連結財務諸表

## ■ 連結株主資本等変動計算書 (2018年6月1日から2019年5月31日まで)

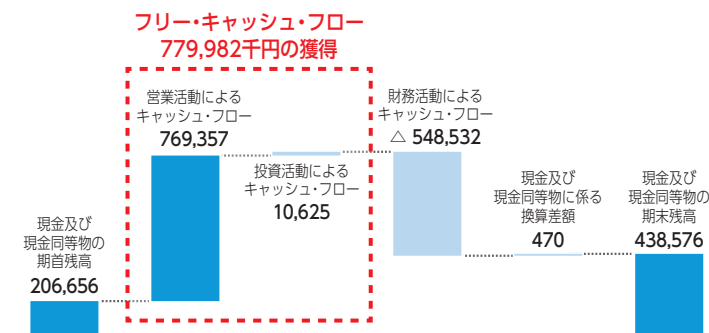
(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益累計額 合計	
2018年6月1日残高	1,874,083	44,103	1,430,199	△167,901	3,180,485	9,673	9,673	3,190,159
<b>連結会計年度中の変動額</b>								
剰余金の配当			△55,203		△55,203			△55,203
親会社株主に帰属する当期純利益			640,224		640,224			640,224
自己株式の取得				△347	△347			△347
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△28,863	△28,863	△28,863
連結会計年度中の変動額合計	—	—	585,020	△347	584,672	△28,863	△28,863	555,809
2019年5月31日残高	1,874,083	44,103	2,015,220	△168,249	3,765,158	△19,189	△19,189	3,745,968

## 〔参考〕連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (2018年6月1日から2019年5月31日まで)

(単位：千円)

	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 548,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231,920
現金及び現金同等物の期首残高	206,656
現金及び現金同等物の期末残高	438,576



# 2019年5月31日現在の会社情報

## 会社概要

商号 タケダ機械株式会社  
 設立 1971年6月  
 資本金 18億7,408万円  
 従業員数 202名(連結)  
 本社 〒923-1101  
 所在地 石川県能美市粟生町西132番地  
 TEL 0761-58-8211(代)  
 URL <https://www.takeda-mc.co.jp/>

(注)従業員数は連結従業員数で記載しており、臨時従業員22名を含んでおります。

## 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 4,080,000 株  
 (2) 発行済株式の総数 1,020,000 株  
 (うち自己株式 63,762 株)  
 (3) 株主数 928 名  
 (4) 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
竹田雄一	96	10.04
株式会社テーエスワイ	70	7.32
タケダ機械取引先持株会	49	5.18
伊藤石典	47	4.94
株式会社北國銀行	47	4.92
タケダ精機株式会社	36	3.80
株式会社福井銀行	30	3.14
竹田康一	29	3.04
竹田咲子	27	2.90
伊藤勝信	27	2.84

(注)持株比率は、自己株式(63,762株)を控除して計算しております。

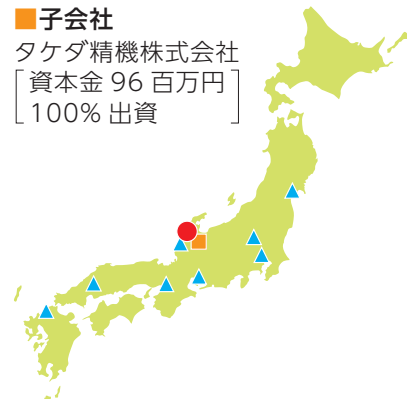
## 役員一覧

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	竹田雄一	タケダ精機株式会社 代表取締役社長
専務取締役	吉田末広	営業本部長
取締役	鈴木修平	管理部長
取締役	伊藤石典	生産本部長
取締役	金田栄悟	公認会計士金田栄悟事務所代表、 金田栄悟税理士事務所代表
常勤監査役	岡安勉	
監査役	村西卓	村西卓税理士事務所所長
監査役	阿慈知幸雄	

- (注) 1. 取締役 金田栄悟氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役 村西卓、阿慈知幸雄の両氏は、社外監査役であります。  
 3. 当社は、取締役 金田栄悟、監査役 村西卓の両氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 4. 監査役 村西卓氏は税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

## 当社グループの主要な拠点

- 本社(能美市)    ■ 子会社  
 ▲ 営業所  
 タケダ精機株式会社  
 [資本金 96 百万円]  
 [100% 出資]
- 仙台営業所  
 北関東営業所  
 東京営業所  
 名古屋営業所  
 北陸営業所  
 大阪営業所  
 広島営業所  
 九州営業所  
 マレーシア駐在所



# 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日
	中間配当を行う場合 毎年11月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
	取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

## 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主様のご住所・お名前を使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。